発議第１２号

新型コロナウイルスワクチン接種加速化に向けた支援継続を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第１４条第２項の規定により提出します。

令和３年７月７日提出

提出者

議会運営委員長　海老原　功一

新型コロナウイルスワクチン接種加速化に向けた支援継続を求める意見書

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の加速化が進んでいる。しかし、この取り組みを後押ししている政府の支援策の一部が、「高齢者への予防接種促進のため」とし、８月以降は未確定である。

対象年齢で、希望する全国民を視野に入れた安全で迅速な接種体制を構築することは国の責務であり、菅首相も６月９日国会で、「１０月から１１月にかけて希望する国民すべてに終えることも実現したい」と答弁した。

そこで政府に対し、安全で迅速なワクチン接種の加速化へ、現行支援体制を堅持し、必要に応じさらなる強化ときめ細やかな対応を図ること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する

２０２１年７月７日

衆議院議長　　大島　理森　様
参議院議長　　山東　昭子　様
内閣総理大臣　　菅　義偉　様
財務大臣　　麻生　太郎　様
厚生労働大臣　　田村　憲久　様
経済再生担当大臣　西村　康稔　様
行政改革担当大臣　河野　太郎　様

千葉県流山市議会

発議第１３号

国会超党派で作成した「ＬＧＢＴ理解増進法案」早期制定等を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第１４条第２項の規定により提出します。

令和３年７月７日提出

提出者

議会運営委員長　海老原　功一

国会超党派で作成した「ＬＧＢＴ理解増進法案」早期制定等を求める意見書

「ＬＧＢＴ（性的少数者）に関する課題を考える議員連盟」（会長・馳浩自由民主党政調会長代理）は５月１４日、ＬＧＢＴへの差別を許さないと明記した法案を作成した。

法案は、性的指向および性自認の多様性など、ＬＧＢＴに対する国民の理解を促す理念法と位置付けている。

しかしながら、第２０４回国会への提出が見送られた。東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会を直前に控え、オリンピック憲章「オリンピズムの根本原則」第６項「このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない」という規定に反する事態は、非常に残念である。ましてや、性的少数者の体験してきた厳しい実態を少しでも解決する道筋が絶たれるようなことは、絶対にあってはならない。

よって、国会及び政府に対し、国会超党派で作成した「ＬＧＢＴ理解増進法案」について、早期の国会提出及び制定を求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

２０２１年７月７日

衆議院議長	大島　理森　様
参議院議長	山東　昭子　様
内閣総理大臣	菅　義偉　様
総務大臣	武田　良太　様
法務大臣	上川　陽子　様
一億総活躍担当大臣	坂本　哲志　様
女性活躍担当大臣	丸川　珠代　様

千葉県流山市議会